

どのみち人生 男と女ノくどくど言わずやるゝたあひつ
 そこから生れた真実だけが俺たち
 ▼人喰い草の野郎▲が求める青春だ！
 既成のモラルを根底からくつがえしたこの鮮烈な生き方に大人たちは真つ青ノ本場フランスでは「エミール夫人」と人気を二分した衝撃の話題作！



カラー作品〈フランス映画〉

●バルスーズとはフランス語で“睾丸”すなわち男性の手○○マを意味するスラング

バルスーズ



ジェラルド・ドバルデュ

ミウ・ミウ

パトリック・ドベール

ジャンヌ・セロー / ブリジット・フォッセー

クリスチャン・ミュレル / ミシェル・ペーレロン

監督ベルトラン・ブリエ

製作ポール・クロードン / 原作ベルトラン・ブリエ <二見書房刊>

音楽ステファーン・グラツベリ <サントラ盤 / コロムビア・レコード>

アンヌ・アンデルセン <歌・コロムビア・レコード>

LES VALSEUSES



★スタッフ

製作……………ポール・クロードン
監督……………ベルトラン・ブリエ
脚色……………ベルトラン・ブリエ
……………フィリップ・デュマルケ
原作(小説)……………ベルトラン・ブリエ
……………《二見書房刊》
撮影……………ブリュノ・ニュイッタン
音楽……………ステファヌ・グラッパリ
(サントラ盤&アンヌ・アンテルセン歌=コロムビア・レコード)

★キャスト

ジャン・クロード……………ジェラルド・ド・ヴィルデュ
マリー=アンジュ……………ミウミウ
ピエロ……………パトリック・ドペール
ジャンヌ……………ジャンヌ・モロー
若い母親……………ブリジット・フォッセー
ジャック……………ジャック・シャイユ

《上映時間-1時間58分》



●問題シーン その② 男二人対女一人の乱交
二人はピエロを撃った男に復讐しようとの彼の情婦マリー(燃えつきた納屋)に出演した期待のセクシー新星ミウ・ミウを襲うことになるが彼女は不感症。インポもなおったピエロとジャン・クロードはあらゆる性体位でマリーをせめるが、彼女はいつか感じなく男二人の方がはてしてしまう。この乱交描写がもっとも問題となったところだ。

●問題シーン その③ ジャンヌ・モローが見せる 衝撃のSEX自殺!
二人は刑務所から出てきた女はSEXに飢えていて簡単にやらしてくれたいといふある刑務所の出口に張りこむ。トランク一個かかえて出てきた女ジャンヌ(これを「死刑台のエレベーター」の女優女優ジャンヌ・モローが演じる)。彼女はホテルで二人の男と乱交を重ねた夜、すでにメンスもなくなった人生のたそがれに絶望し、マタをひらいて女陰に拳銃をつっこむと自分の子宮を撃つて自殺する。この衝撃場面には女性観客が悲鳴をあげ失神者も出てモローの大熱演がスクリーンを起した。

●問題シーン その④ 映画史上最高のカー・セックス描写
ジャンヌを殺したと疑われるのを恐れた二人はマリーのところにかかってくる。ジャンヌの息子ジャックも刑務所におり、出所した彼のめんどろをピエロたちは見ることにになり、彼に不感症のマリーをあてがう。ところがジャックによってマリーの不感症がなおったのだ。マリーがオルガスムスに絶叫するところも追真のセックス描写だが、それ以来、マリーは二人にセックスをアニマルのようにいじみ、車内ですさまじいカー・セックスを展開する。おそらく映画史上最高のカー・セックス描写といえる激しい描写でこの部分も大問題になった。

●問題シーン その⑤ 白昼の太陽の下で展開する 処女膜破りの乱交儀式
マリーを加えた三人が、川辺でピクニックしている親子の車を盗もうとする。十代の娘ジャクリーヌは、両親に反抗し「私も一緒に連れて行って!」といいだし、三人に同行し「私の処女を犯して!」といいだす。真昼間の太陽の下で男二人、女二人が乱交。ジャクリーヌの処女膜破りの儀式を壮大に展開するクライマックスこそ、フランスの大人たちと若者たちの間で大論争となったポイントだ。

●問題シーン その⑥ 青春のすさまじい燃焼!
しかしこれはあくまでポルノではない。現代の若者たちの行き場のないいらだち、悲しみ、怒りが燃焼している素晴らしい青春映画の傑作。三十代のベルトラン・ブリエ監督は「ヒットラーなんか知らないよ」という戦後世代の若者を描いた秀作で認められいまもともフランスで期待されている新鋭だ。ステファヌ・グラッパリの虚無感ただよう音楽、主役の二人が着るGパン・ルックがバルス・ルックと称して大流行し若い世代に強烈にアピールした。この映画こそまさにNOWな若者映画だった。

●問題シーン その⑦ 白昼の太陽の下で展開する 処女膜破りの乱交儀式
マリーを加えた三人が、川辺でピクニックしている親子の車を盗もうとする。十代の娘ジャクリーヌは、両親に反抗し「私も一緒に連れて行って!」といいだし、三人に同行し「私の処女を犯して!」といいだす。真昼間の太陽の下で男二人、女二人が乱交。ジャクリーヌの処女膜破りの儀式を壮大に展開するクライマックスこそ、フランスの大人たちと若者たちの間で大論争となったポイントだ。

●問題シーン その⑧ 白昼の太陽の下で展開する 処女膜破りの乱交儀式
マリーを加えた三人が、川辺でピクニックしている親子の車を盗もうとする。十代の娘ジャクリーヌは、両親に反抗し「私も一緒に連れて行って!」といいだし、三人に同行し「私の処女を犯して!」といいだす。真昼間の太陽の下で男二人、女二人が乱交。ジャクリーヌの処女膜破りの儀式を壮大に展開するクライマックスこそ、フランスの大人たちと若者たちの間で大論争となったポイントだ。

「等身大の恋人」 近日公開!
「バルス」につぐ話題騒然のFOXの問題作/男はなぜタチワイフに溺れたか? 強烈なSEXの世界を描く

近日ロードショー

有楽町 有楽町駅前(そごう側)有楽町ビル内
スバル座 (212) 2826